

# 命の大切さは元ひとつ

戦争(環境破壊)を起すも人間なれど、

戦争(環境破壊)を止めるのも人間である。

世界恒久平和を迎えるには、広島長崎の原爆を体験した私

たち日本国民が、世界に先がけて今こそ神佛の大御意志・知瑠

恵と御難賛助のところに徹し切る魂の意識革命を起こす

絶好の刻が来ました。その倫理は戦争で殉死した御靈魂の

怨念を癒す信仰を一つに結集する世界平和神宮院と、日本国

憲法第九条の生み親、昭和天皇の御靈魂をお祀りする昭和神

宮を、熱田神宮の元宮(愛知県名古屋市長高町日神山の地)に今上

陛下のお詞をいただき、国民一人あたり一円の浄財をもつ

て建立する事から始まるのです。そして佛教の經典には、

人間一人ひとりの魂の努力目標を伝えていますが、真言

密教の教祖弘法大師の十善戒は解りやすく記されています。

その十善戒そのものが知瑠恵と御難賛助の意志であり、自

らの身を正しく、他人の幸福のためにつくすことにあります。

ひたすら自分の欲望を追求するのみでなく、家族・社会・

さらに世界の平和と、人々の幸福を願いつつ、今日を精いつ

ぱい生きる、これがそのまま神佛に従い生きることではないで

この十善戒の魂の内には、武器を準備する一円の淨財もいらぬのです。

- 一、生きとし生けるものの命を大切にすること。  
(不殺生)
- 二、他人のものを盗まないこと。  
(不偷盜)
- 三、男女の関係を正しく保ち、愛欲におぼれぬこと。  
(不邪淫)
- 四、嘘をついて人をだましたり、あざむいたりしないこと。  
(不妄語)
- 五、お世辞など、語をかざって他人の心を乱さないこと。  
(不綺語)
- 六、悪口を言って、人をはずかしめたり、ばかにしたりしないこと。  
(不悪口)
- 七、親しい仲にしつとを抱き、二枚舌を使って、仲たがいをさせるようなことをしない。  
(不両舌)
- 八、名譽、地位・財産などを必要以上に欲しがらないこと。  
(不慳貪)
- 九、むやみに怒らないで、なごやかな心をもってひとに接すること。  
(不瞋恚)
- 十、まちがった考えにまどわされぬで、人間の生きてゆく道理や、正しい教えを信ずること。  
(不邪見)

以上真言宗の十善戒を引用

平成二十二年十一月九日

三代目 東核芒種大伝道師 加古藤市